

英國婦人日常の一端

宇佐美敬

各國の幼稚園の様子、子供を中心としての事業はもとで詳しく書くことにいたしました。今日は、あちらの家庭の子供の教育、主婦の家庭生活をお話しいたしませうか。

最初にマルセーユに上陸して六月四日にパリにまわりましたがその時はもう見たいと思ふいゝ私立學校の子供は避暑に出かけてゐました。フランスでも英國でもよい家庭の子供は私立學校にいます。公立學校の方は無月謝で、中以下の子供がはいり、場所も市のはづれに重に工業地帯にあります。この方は二三參觀いたしました。御承知のようにパリには子供が少く人口が段々減つて行き

ますので母子保護事業に對して政府はかなりの費用をかけて施設をして居ります。パリの不良兒の感化事業は世界一だといひます。大基模にやつて居りますし、成績の上つたものでした。

ダルクローズのリトミック教員養成所は一週間つゞけて小さい子供の稽古まで參觀いたしました。パリはこのリトミックが大變に旺なものです。その卒業生が大きいビルディングの一室を借りて一週に一回か二回幼稚園時代小學校時代の子供を集めて教へてゐる程一般的になつて居ります。リトミックはもう世界的です。アメリカの幼稚園でも小學校でも採用してゐない所は殆んどありません。

ん。殊に金のあるアメリカではピアノの先生とリトミックの先生二人掛りです。いつたい音楽だけは幼稚園も小學校も専門の先生が来て教へられてゐるのが一般のやうです。誰でもピアノが弾けるつていふのは無理な事かも知れませんが。その先生は一つの幼稚園の先生でなく諸所のかけ持ちです。マンハッタンのナイススクール、ニューヨーク市の貧乏地帯にあるこの無月謝校ですら、その様です。英國でもリトミックは相當採用されてゐました。ニューヨークのリンカーンスクールで、ピアノと踊りの先生が來られて、時間を定めて順番に子供が入つてきては愉快さうに曲に合せて踊つてゐました。先生がちやんとこしらへた一つのモーションを教へて練習の結果面白くやれるのは、全然しなくはありませんが、非常に少ない。リトミック式に、曲を聞いて子供が獨りで愉快さうに踊つて居ります。ボストンのシェーデー

ヒルスクールで、子供の健康の上からも一番リトミックの徹底が緊要だと感じました。うらやましいほどきれいな床に子供達は各々勝手に仰けに、或は腹ばひにねて居ります。先生のピアノが鳴り出すと、床にねたまゝで曲に合せて體をもんぐりくくねらせませす。やがて奏樂が木の葉のヒラヒラ散るのに變ると段々起ち上つて曲に連れて好きなやうに踊ります。いかにも愉快さうな様子で。その子供達の踊る姿の中には踊りとしてとり出しでも立派なものだと思はれるのがありました。その先生の仰る事に、「アメリカの子供は周圍の關係から大變神經質になつて居りますから神經系統の衛生について考へてゐるが、それにはリトミックが適してゐる」といつて居られました。リトミックについては何れ稿を改めて詳しく述べませう。

パリで、相當の家庭を知りたかつたのですが

機會を得ずして去つたのは残念でした。私のこの度の出張は英國が主で、上流家庭の教育、家庭の子供に關する設備を知りたいと思ひその方面に力をそゝぎました。有名な幼稚園、幼稚園の下のナーススクールは大抵みました。ミス・マクミランのナーススクールへも行きました。リットルプリンセス エリザベスのナースリの拜見も出来ました。

國民性には長所も短所もあり、何國の婦人が勝れてゐるかと申す事は困難ですが、私共が學ぶべき點を多く持つてゐるのは英國婦人だと思ひました。その英國婦人の子供の教育について申し上げますとあちらでは相當の家庭になればナースが居ります。もつと上になると更にガバナスをあきまします。子供の教育について殆んどガバナスが引き受けますがこれは上流家庭の事。普通一般家庭は日本と同じように母親が自分で育てます。ナース、

ガバナスは日本の女中や乳母と違つて教養があり非常に義務心が強く此點が英國のナースのすぐれてゐる所以です。引き受けると熱心と誠意で子供を育てます。一週に一度、ナースは休暇をとりませんが、泊りがけ、或は朝から出かけてますその日の子供の世話は、一切、必ずお母さんで、決して女中に委す事は許さぬ權威がナースにあります。斯んな權威があるくらゐに信賴の出来る人で、お母さんは奥さんで、勉強なり、活動が出来ます。一方お母さんがその日稼ぎならナーススクールがあります。日本にも奥様方がそれ／＼の方面に活動出来るために、本當に安心して子供を委される信用の出来るナースの養成は大事な問題です。ナースの養成所も見てまゐりました。

ナースに權威のある一例を申し上げますと、日本の或方が頼んだナースの話ですが、お子様は四つの時、營養不良か貧血症かだん／＼體重は減り、

顔色が青くなつて來ましたのでいろ／＼相談し合ひますと、ナースは新しい牛肉の血をしぼつて飲ませるとよいと經驗と學識から申したのですが、御主人は牛肉の血をしぼつて、殺菌もしないそのまゝ飲ませるなんてそれこそ大變、いけないと反對しましたが、ナースは頑としてきゝ入れない。中に立つた奥様が困つて多年の經驗があるのだからとナースにゆづりました所、一ヶ月の後に急速な健康恢復をしました。その時にナースが言つたさうです。「あなた方は子供を育てた經驗がない、經驗なき者はある者に服従しなければならぬ」と。やはりそのお子さんが、ある晩、何うした調子か御両親に「お寝みなさい」を云はない、まだ起きていたかつたのでせう。序でに申しますが英國では六時には子供はベットにはいりませう。ナースが「セイ グッド ナイト。／＼」と云ふと、「ノ」といつてどうしてもおやすみなさいを申しません。

何回かくりかへし四十分間この様子が續きました。お父さんもお母さんもあぐんで新聞や雜誌を讀んで子供のグッドナイトをいふのをまつてゐました。「あゝ今夜はいゝよ」などと云はうものならナースに叱られますから。四十分かゝつてとら／＼と子供が「おやすみなさい」と云ひました時のナースの喜びやうは大したもの。「いゝ子だ、／＼」と讚めて、ベッドルームにつれてゆきました。その後一度もそいふ事がありませんでしたといふ事です。まづそんな風の教育の仕方です。母親の教育する時でも斯様に徹底して居ります。お子様のある家に泊つて一日を拜見しました。チエドナムカレッヂのヘッドマスターのお家、高等學校長くらゐに當られますか、その日はガバナスの休みの日でしたのでお母さまが子供のお世話ななさるところを拜見しましたが、その注意はなか／＼周到なものです。三才と小學校二年位の二

人の男兒がおりますが、男の子の行儀のよい事に實に感服致しました。大きい方の子供と晝食が一緒にしたがりやんとマナーを心得てつゝまじやかに食事をします。あちらでは食卓のマナーはやかましくして無作法をすると信用をなくします。あ

ちらの作法の精神は人にいやな感じを與へぬやうといふ點にありますから小さい時からその躰が非常にきびしいのです。つまり社交の精神教育を小さい時からいたします。食事の時はブル／＼音をたてたりスープをすつたり食器の音をたてたりせぬやうに、口に入つたものを二度外に出さぬこと、水をのむにも一時にゴク／＼させないでコップに口唇のあとを大きくつけないこと等。また女中が給仕しても必ず「サンキュー」を云はせます。言はなければ教へます。一口にいへばポライトに自然の間に躰けます。そんな小さい子供でもレデーより先に食卓にはつきませぬ。これが日本

では手に負へぬ年頃「これだから困ります」ですんで居ります。お客様の前で子供がお客様に出た菓子を取るのなど自然でよいなど考へてゐる人があります。これはどんなものかと思ひます。

子供は大變軽い食事、晝はパンと少量のミートポテト・ホールレン草のすつたもの少量、薄い紅茶。四時におやつ、これは牛乳一合、ビスケット、ブレッド、アンド、バター。これが夕食兼になつてゐるやうです。この日お母さんはバブリックの用事はよして、子供の世話を凡べて自分でやります。食事も附いて、話ながらゆつくり食べさせます。四時のおやつ後三十分、お風呂に入れます。その家では合計五人の女中が居りますが女中には一指定も子供に觸れさせません。風呂は大變湯が熱くてぬるいもの、日本人の熱湯はいけないさうです。スキッツルのホテルでの話に、其處の湖水をずつと遠い向ふ岸まで、外國人は漕ぎぬくが日本人は

湖水の冷たさに堪へられない、心臓が弱いのではなく、皮膚の抵抗力が弱いためだといふ事です。これは小さい時からの習慣によると思ひますから幼児には必ずぬる湯にしたいものです。あちらのバスには必ず寒暖計がついてゐまして、日本のやうに大人が手で加減するのではありません。病院のやつてゐる事を家庭でしてゐるわけです。

お風呂から上るとすぐにナイトガウンに代へ、ベッドに入れますが、その前に、お母さんの膝に子供の顔をうつ伏せさせて祈りを教へます。「神様お父さまお母さま、みんなをお守り下さい」と極く簡単に。ベッドに入れてふとんをちやんと整へてやると「お寝みなさい」と言つてブラインドを下し、電燈を消してお母さんは室を出てしまひます。思ひ切つた事をする、日本のお母さんは思はれるところですね。と思ひますがこゝらの理性的な點を日本婦人に學んで貰ひたいと思ひます。

これからはお母さんの世界になります。日本ではお母さんのいそがしいお家では子供に對して權威のない女中まかせです。この意味だけでも幼稚園に入れる事は大切な事だと思ひます。

英國は子供を、お母さん・ナースその他年長者によく服従するやうに躑けてゐます。従順であるといふ事が凡ての徳性の根抵であつてまた將來、人と和して愉快に暮して行ける事になるのではないかと思ひます。日本のお母さんが「今に大きくなつたら分るだらう」と、いふ事をきかぬのを見過されるのは考へねばならぬと思ひます。小さい時から他人の感情を尊重する、人に不快を與へるやうな事はいはぬ、せぬ。それが紳士、淑女だと教へる英國の教育は學ぶべきだと思ひます。

家庭へお客の仕方を申上げたい。英國ほどお客を歡んで手輕に迎へる國は他にないと思ひます。縁もない私のような外國人でも、日本の事を聞き

たいまた日本人に接して見たいといふ點もありませうけれど私の願ひを友達から聞いて喜んで家庭を開放して見せるのですから、さすがに世界的な國民だと思ひます。一面自信もあるからでせうが、一方、お客のもてなし方にそれをし易い理由もあると思ひます。

まへに申上げた家に客になつた時の事を申上げますと、まづ何日何時に伺つて何日何時に歸るかをきめてまゐります。私の様に土地に不案内の者には約束の時間前に夫人自ら運轉して自動車で迎へてくれましたして夫人自身定めた室に通します。第一にバスとトイレットを教へ、寒い時には煖爐の火など見まはり、食時迄休息するようにと自分の室に行つてしまひます。晝食は一時半から二時。この間は自由時間です。英國の作法ではお世話になると簡単な葉書でもすぐ御挨拶する事になつてゐますから、この間にそれ等の人々に手紙を書き、

着換へして待つて居りますと食事に案内されます。話ながらゆつくり食事して、四時のお茶の時まで又自由な時間になります。晝寝、手紙書き等してゐますと四時前に洗面の湯を女中が持つて來ます。食堂に出ますと十人ぐらゐのお客、一時間半ぐらゐの間、頗る簡単なブレットアンドバター、ビスケット、家で作つた西洋菓子、紅茶をいただきます。日本のようにしたまいたゞけないほどのご馳走を出すような不經濟をしません。要談のある者はこの間に済ませます。夜食は七時から八時。それ迄は又自由時間で、六時半に女中が湯を持つて來ます。夕食にはこれくらゐの家庭になりますと夫人はデオルターを着ます。且那樣はスモッキングタキシード位、日本でもせめて夕食には顔を洗つて一寸帯をしめなほす位したらずいぶん氣持がちがひ自然お行儀がよくなるでせう。食事はごく簡單で、主なものは一皿で相當念のいつ

たものですが皿数は少ないものです。浪費は罪惡だと考へてゐますから自分の皿にとつたものをあまさないたゞします。食後は旦那様は仕事か忙しければ書齋にいちつしやる、奥さんと二人で居間に入りまして話します。二人きりで話かどぎれますと雑誌を讀むなり、手紙を書きます。あちらの作法として客人が先に席をたつ事は失禮ですから主婦は氣を利かせて十時ぐらゐに寝みませうと言つて席をたちます。客も挨拶して自分の部屋にひき下ります。

こんな工合で客を招んで主婦がそのためにとれる時間は實に僅ですから客も氣がらくてありました。主婦も別に大した事はありません。これ等は室の餘裕、設備の關係もありますが日本の様に客をすると家中のさわざになり主婦がそれにかかりきり主客ともにつかれる招客法は考へたいものと思ひます。翌日出立する時刻にはタキシードを

呼んでくれ玄關まで送つてくれ、さようならをすれば主婦はその十分後にはその日の次のプログラムに移るといふわけです。

アメリカ人は、英國の婦人は時間々と時間に支配されてゐるといひますが我々日本人の様にだら／＼時間を送つてゐる者こそ仕事に追はれますが、ちやんと時間を配當してゐる英國婦人は悠々として能率をあげて居ります。

宇佐美氏は女子學習院幼稚園の主任。昨年四月、宮内省の命を受けて歐米の幼兒教育、殊に上流の家庭教育を視察せられて先月末歸朝せられました。まだ長途の旅勞れ、また整理最中の御多忙中にこの稿を口述いたゞいでございます。來月からは各國の幼兒の教育の現況を詳しく御執筆下さる筈、御期待下さる。